

(理念)

暖もりのある笑顔と

思いやりの心があふれる

和やかなわが家

(基本方針)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
 - ・各事業所の稼働率アップに取り組み、增收へと繋いだ
- ② 法人組織の体制整備
 - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名及び職務執行状況等の報告
- ③ 人材の確保
 - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
 - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
 - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
 - ・人事考課を施行し、賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
 - ・シダックスによる食事提供を解消し、調理員を雇用して法人直営で食事提供する
栄養士2名、常勤調理員3名、パート調理員10名で食事提供

2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
 - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
 - ・人事異動
 - ・現在の業務内容
 - ・現在の職場について

- ・能力開発について
 - ・目標
 - ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加
- ・主任介護支援専門員合格 3名
 - ・介護福祉士合格 0名
 - ・手話教室の開催(コロナ感染予防のため中止)
- ④ 研修実施 別紙資料

3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
 - ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和か会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④ 嗜好調査を実施し、献立に反映させた
- ⑤ 毎月給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症防止体制の充実を図る
- ⑩ 法人本部の BCP の作成

4 地域との連携を図る

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催
- ② 手話教室に地域住民参加(コロナ感染予防のため中止)
- ③ 納涼祭の開催(コロナ感染予防のため中止)
- ④ 地域交流バーペキー(屋内で利用者のみ)
- ⑤ 法人広報紙「だんのさと」年2回発行し、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ
- ⑦ 認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る
- ⑧ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園、保育園の交流を図り、入居者の生活に潤いをもたらせた
- ⑩ 「防火設備の定期検査」結果を市へ報告

○役員研修報告（令和4年度）

社会福祉法人だんのさと

※経営者コーチング研修受講・・・R4.9.22、10.2、10.23、R5.1.22（米子市、あだち人材育成研究所）

※認知症介護基礎研修（オンライン研修）受講

※小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修（オンライン研修）受講

※主任介護支援専門員更新研修（オンライン研修）・・・3名受講修了

※福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者・中堅・管理者コース）受講修了

○社会福祉施設経営法人連絡会、鳥取県社会福祉施設経営者協議会、県社協総会等、コロナの為、オンラインとなる。

日程	研修内容	場所	費用	主催
R5.2.20	令和4年度 鳥取県老人福祉施設協議会 第2回定期総会	湯梨浜はごろも苑	無料	鳥取県老施協
R5.3.8	不在者投票管理者説明会			
R4.12.2	令和4年ケアマネ養成研修会	オンライン	無料	鳥取県介護支援専門員連絡協議会
R5.1/23 ～1/26	福祉の職場で働く看護職員研修会	オンライン	無料	鳥取県社協
R5.2月・ 3月	ケアマネ研修	オンライン	無料	鳥取県福祉人材センター

令和4年度事業計画報告

施設名：ケアハウス暖の里(本館)

計画項目		具体的な内容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	1 温和で笑顔あふれる施設の実現 2 その人らしい充実した生活の支援 3 地域との共生によるふくしの実現 4 人間性豊かな福祉人材の育成 5 活力ある経営の実行
	施設の目標	1 笑顔と挨拶の徹底を図る。 2 生活環境を創る ・「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「暮らし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。 【コロナ感染症対策のため、ボランティア団体等の受入はできませんでした。】
	利用者へのサービス 提供	1 入居者一人一人の意向を尊重し、必要な介護サービスを実施する事により、安心した暮らしが送れる環境となる様、努める。 【地域包括・居宅介護支援事業所及び、訪問介護・小規模多機能事業所と連携し、必要なサービスを実施しました。日常生活の要望等も隨時対応し改善を図りました。】
		2 入居者との信頼関係を築く為、施設が提供するサービスや設備面に関し、意見・要望を伺う為、「和み会」を毎月実施。入居者と協議する事で、双方の理解を深めると共に、全体周知を図る。改善内容について、可能な範囲で、早期な対応を実施。 【和み会を毎月1回開催し、入居者よりご意見や要望を聞いています。要望等多くはありませんが、環境面の改善や生活の質の向上につながる内容については、早急に対応すると同時に可能な限り改善しています。】
		3 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ・将棋等）・レクリエーション等を実施する。 【カラオケについてはコロナ感染対策のため休止しています。その他、季節に応じたレクリエーション活動（螢鑑賞・七夕・夏祭・紅葉狩り・餅つき等）は感染対策をした上で実施しました。月2回の移動図書の来所は実施しています。】
		4 体操を実施する事により、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 【体操は毎日実施しました。また自主的に施設周辺を散歩するなど生活リハビリに努めました。】
		5 入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言や解決となる対応を行い、心身の安定に努める。 【環境面・設備面・対人関係等の苦情がありましたが、相談員を中心に全職員で速やかな解決・改善に努めました。】
		6 施設サービスに対して年度末に満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 【入居者には配布、ご家族には送付でアンケートを実施しました。集計結果は、館内に掲示し、ご家族には郵送でお知らせしました。】

給食(食育)	<p>1 暖の里本館にて100食調理を行い、新館へ50食を配送する。 【直営の厨房により、ご利用者の病状に応じた食事の対応が、迅速に対応できるようになりました。】</p> <p>2 食事は入居者の楽しみであり、誕生会等の行事食及び、季節感を大切にした旬な料理の提供に努める。 【毎月、誕生会食を提供しました。また季節に応じた行事食も提供しました。さらには、主菜を選んでいただくセレクト食も実施し、入居者に楽しんでいただきました。】</p> <p>3 入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努め、安全に食事を食べて頂く環境作りに配慮する。 【栄養士の栄養相談及び、入居者の嗜好を可能な限り取り入れ、個別対応を行いました。また疾病による食事対応も可能な範囲で対応しました。】</p> <p>4 嗜好調査・満足度調査を年度末に実施。翌年の献立に反映させる。 【嗜好調査を実施しました。好評な回答が多かったですが、引き続き栄養士と厨房職員を中心とした、より満足度の高い食事提供に努めます。】</p> <p>5 給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 【毎月委員会を実施しました。本館・新館・厨房の意見を基に栄養面及び盛りつけ等も協議し、見た目も、味もおいしくする工夫を話し合いました。】</p>
事業項目 衛生管理・環境	<p>1 属託の寺岡医師と連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。歯科については、往診可能な歯科医院に依頼を行う。 【寺岡医師の往診を中心に、各入居者かかりつけ医院との連携を図っています。また日中、近隣の事業所にディサービスに通うことで、日中活動を充実し心身共に健康維持が図れるように支援しました。】</p> <p>2 健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院等迅速・適切な対応を行う。 【体調不良の方へ迅速な対応を行いました。日々の様子観察や、必要に応じ居室訪問を定期的に行い、異変の早期発見、早期治療に努めました。】</p> <p>3 各感染症(インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス)に対して感染症防止体制の充実を図る。 【インフルエンザ・コロナウイルス予防として、消毒効果が確実なアルコール消毒を1日2回実施しました。また、面会・外出制限、入館禁止を実施しました。必要な入館者(訪問看護・PT・OT等)は検温・アルコール手指消毒を実施し入館しました。インフルエンザ及びノロウイルス感染はありませんでした。】</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症予防に努める。 【令和4年9月に12名のコロナ陽性者が発症して鳥取県よりクラスター認定を受け、認定看護師等が来所、環境面等現状を視察し、感染予防の指導を受けました。しかし、その後も他事業所のディサービス事業所に通所している方が感染する等、12月に1名、令和5年1月に1名が発症しました。館内は感染対策でマスク着用・消毒実施、換気など引き続き感染予防を実施しています。】</p>

安全対策・事故防止	<p>1 救急救命講習会・AED講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 【コロナ感染症対策のため、館内での講習や行事は実施しませんでした。】</p> <p>2 地震や火災等の災害を想定した避難訓練に組織全体で取り組む。年3回実施する。 【年3回の避難訓練は実施しました。速やかな避難誘導を行う事ができるように夜間想定で訓練を実施しました。内1回は地震後の避難訓練を実施しました。】</p> <p>3 非常食の備蓄により、災害等の食事提供体制を確保する。 【災害を想定して非常食の備蓄は実施しています。2月に4時間停電がありました。その際、厨房の電源はガスのため火は使用できましたが、水道が使えなかった。今後も災害を想定した訓練や備蓄を考えていきたいと思います。】</p>
保護者・家族	<p>1 法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 【年2回発行し、館内での行事等の写真や記事を記載し家族等に送付しました。】</p> <p>2 入居者の方の近況報告を年2回行い、面会の疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 【コロナ感染症対策のため、基本面会を禁止しました。ただし定期・不定期通院の際に現状報告をしています。新年に送付した便りに、入居者の元気な顔写真や近況を記載した文章を送付しています。更には、体調の変化があった時は適宜報告しました。その他、施設プラン作成時に本人、ご家族の要望をお聞きし、作成したものを作成しています。】</p> <p>3 体調不良や転倒等も含め、特変の際は家族へ早急な連絡を行い、必要時は通院調整を行い情報共有を行う。 【体調不良時や転倒を発見した際は直ちに、ご家族や医療機関に連絡し対応しました。基本はご家族による通院介助ですが、県外等遠方であったり、緊急でご家族が対応できない時は、職員が救急車対応で病院等に付き添う等の対応をしました。また近年は身元引受人の高齢化等で通院介助ができないケースもあり職員が通院介助をしていますが、業務に支障がでる場合もあります。】</p> <p>4 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 【入居者・家族にアンケートを実施している。アンケート結果は、要望に対する回答も含め、館内に掲示すると共にご家族にも郵送しています。】</p>
地域との連携（地域貢献）	<p>1 法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 【年2回の発行を実施しました。施設の行事等を掲載し地域に配布することで、地域住民に福祉施設の理解促進の一助としました。】</p> <p>2 地域の自治会等と連携し、防災等で協力していく。 【コロナ感染対策のため、合同訓練等は実施しませんでした。】</p> <p>3 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたらせる。 【コロナウイルス感染症予防のため、地域交流に関わる行事への参加及び館内での交流は実施しませんでした。】</p> <p>4 学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ※地域への貢献として生活困窮者へ、必要な介護情報の提供及び生活支援の推進 【コロナウイルス感染症予防のため、地域交流に関わる行事への参加及び館内での交流は実施しませんでした。】</p>

経営項目	経営管理	<p>1 入居率100%確保を目指している。</p> <p>【入所者リストを作成し退去がある場合はスムーズに入所できるように努力しました。元々ご高齢の方の入居者が多く、転倒や疾病による入院で機能低下が進み、退所となる方も多かったです。また二人部屋があり、どうしても空室が生じました。】</p> <p>2 病院地域連携室、包括支援センター等へ定期訪問と、情報交換を図りながら入居者確保に努める。</p> <p>【電話等で病院、地域包括、居宅介護等、他事業所と情報共有を図りながら待機者の確保に努めました。】</p>
	施設・整備	<p>1 職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。</p> <p>【照明、冷暖房の適切な運転に努めました。備品の確認も過剰な在庫とならないように点検し発注しました。しかし、物価高騰及びロシアのウクライナ進攻等の影響でエネルギー価格が高騰し、電気料金が著しく増大しました。】</p> <p>2 各種機械、設備の定期点検、補修に努める。</p> <p>【外部業者による、法定の定期点検を実施していただき、設備等の異常を早期発見し、大規模修繕にならないよう適宜対応しました。】</p> <p>3 故障の早期発見、修繕を行い入居者に安心していただく。</p> <p>【老朽化に伴い故障物品が増えました。特にボイラー室関係の異常や厨房器機の故障の早期発見に努めました。】</p>
	職員管理	<p>職員研修の推進(施設・厨房職員)</p> <p>1 施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。</p> <p>【感染症研修や職員中堅研修(集合研修)に参加しました。またメンタルヘルス研修(オンライン研修)に参加することで職員の資質向上に努めました。】</p> <p>2 職員の資格取得にチャレンジしていく。</p> <p>【資格取得に向けて情報提供を行いました。資格取得はありませんでした。】</p> <p>3 職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。</p> <p>【毎月の職員会議時に職員研修を実施しました。併せて各委員会も開催し情報共有を図りました。】</p> <p>4 施設長と職員の意思の疎通を図るために個々に意見交換会を実施する。</p> <p>【施設長と職員間で面談を実施しました。また隨時話し合いを実施し意思疎通を図りました。】</p>
	資金計画	別紙予算書

令和4年度 事業報告書

ケアハウス暖の里新館

基本理念

暖もりのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家

(1) 運営方針の基本

- 温かみのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家
- 人間性豊かな福祉人材の育成
- 活力ある経営の実行

(2) 入居者の待遇・プライバシーへの配慮

- ①新館心得として、「笑顔とあいさつ」と「明るく楽しく」を意識して、笑顔あふれる施設の実現に努力し、ご家族や来館の方についても「笑顔」で対応し、電話応対についても改善されている。
- ②入居者の生活と人権を擁護するために、プライバシーを尊重し、公平かつ公正な開かれた施設の実現のために、入居者の方からのご意見をお聴きする「だんわ会（毎月第1土曜日）」を実施して、四季に応じた施設の行事や運営等を説明できる場の設定と入居者からの要望・苦情等のご意見を自由に発言できる場を設けた。だんわ会には多くの入居者が参加され、職員は、意見を聞きだす立場で参加し、質問や要望等についての回答できる部分はその場で行い、検討する問題については後日職員間で話し合い、入居者用「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示及び、食事前などで食堂にて説明・回答を行い周知を図っている。
また、だんわ会以外でも、日々修繕、要望意見、相談事に対して速やかに対応する様に、配慮している。

③生きがいのある生活の場としての環境作り

ア 穏やかで心豊かに暮らすためのイベントの実施。

誕生会には誕生者のテーブルに一輪挿しで生花を置き、潤いのある誕生会にする為、職員による誕生者の紹介や歌を実施し、ささやかなプレゼントやケーキを贈りお祝いを行っている。

コロナ感染が懸念される為、従来の「希望外出」を積極的に実施する事は出来なかつたが、季節によってのドライブ・故郷訪問(主に墓参り)等希望に応じて、楽しみのある生活の場として外出を実施した。

イ 共通の趣味・興味を通して生きがいを見出せる活動の支援の実施。

湖山池畔で不定期となつたが、グランドゴルフ大会を実施し優勝を目指し楽しんでおられた。また毎週火曜日午後にカラオケを実施していたが、感染対策により実施状況は限られた。趣味の手芸で行事等の飾りつけや園芸の協力で玄関前に植物・花を飾って頂いた。

④きめ細やかなサービス提供と自立の推進

身体的、精神的特性に応じた自立のための生活援助及び栄養助言として、ケアマネージャー・ヘルパー・生活相談員・介護職員・栄養士で連携を図り、自立への可能性に向けて生活支援を実施した。食事に関しては、厨房職員・栄養士を主に連携を行い、温かい食事の提供に努めている。提供内容についても嗜好調査を実施、入居者のニーズに可能な限り沿った献立により食事を提供した。

⑤第三者による施設サービス評価

第三者評価の受審は今後の検討課題であるが、まず入居者の施設利用アンケートを実施し、入居者からの要望・意向に対してのサービス内容の改善を図ったうえ受審したいと考えている。また家族等へのアンケートも実施し要望に応じて対応した。

(3) 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修の実施。

- ①職員が楽しく働きやすい環境を作る為、個々で主体性を持ち業務に取り組む様、働きかけた。職員会議等で、課題等を話し合い疑問点の解決や不安解消を行った。
- ②安全と安心した生活のサービス提供をするために、各種委員会（苦情解決・事故対応・虐待・身体拘束・感染症対策・給食委員会等）及び、内部研修（事故対応・感染症対策）を定期的に実施し、事例検討や各内容について周知を図った。
- ③法人の施設長・管理者会議・事務担当者会議を開催し、会議内容について職員に報告し情報共有を図った。
- ④質の高い福祉サービスの提供を図るため、社会福祉の専門職としての専門知識の習得と技術向上を目的に各種研修に参加。また、栄養士に関しても、栄養管理等について研修に参加した。
- ⑤昨年同様に基本理念の実現に向けた「法人だんのさと中・長期計画」を策定し、当計画に基づいた単年度計画を策定して取組みを継続実施している。また、安定した経営基盤を図るため、入居者確保の検討と関係機関との連携を行っている。このことにより、利用申し込みを継続的に確保している。

(4) 地域開放、貢献等

地域の方との交流を深め、共に支えあい地域社会の中で積極的な役割を担うため、次の活動を計画した。

①ケアハウス納涼祭に地域住民をご招待

湖南地区自治会、湖南地区公民館、湖南学園、湖南保育園等の参加案内を行い多くの地域住民の方々の参加と交流を深める。

②湖南地区サークル活動グループの参加もあり納涼祭も盛大に地域の方々、利用者も楽しいひとときを過ごして頂く。

③地域行事への参加

湖南地区運動会、湖南地区納涼祭、湖南地区文化祭等に参加し、交流を深める。

以上の事を計画していたが新型コロナウイルスの関係で感染防止や接触を避けるために地域との交流は出来なかつた。

(5) 秘密保持（職員及び過去に職員であった者に対する入居者等の秘密保持の徹底）
職務上知り得た個人情報は外部へ漏洩してはならないことであり、「個人情報保護に関する誓約書」を全職員から徴取し、職員に周知を図っている。

(6) 入居者処遇に係る事故発生の対応

職員は日頃から意識して「ヒヤリハット」報告を隨時職員間で話し合いを行い
事故防止対策を図っている。事故発生時には速やかに事故報告を鳥取市に提出している。
また年3回のリスクマネジメント委員会で報告し法人全体で防止対策を検討している。

(7) 施設の特徴、セールスポイント

①入居者の人権を尊重し、心豊かな生活を過ごして頂くために、明るく笑顔を絶やさず、
思いやり・真心を込めて接する事で、安全で健康的な暮らしが出来るようサポートしている。
②清潔できれいな温泉と四季折々の食材を使用したお料理を提供しています。

令和4年度行事一覧

実施月	行事内容
4	5 花見弁当、25 誕生会
5	24 誕生会、30 グラウンドゴルフ
6	6 ちまき作り、14 セレクト食、22 誕生会
7	5 七夕飾り、参議院不在者投票、19 誕生会
8	5 コロナワクチン4回目接種、19 抹茶の会、22 誕生会
9	6 敬老会祝賀会、26 誕生会、避難訓練
10	21 抹茶の会、24 結核健診 25 誕生会
11	7・8・9 紅葉ドライブ、16 市議会議員不在者投票、22 誕生会、 28 インフルエンザ予防接種
12	15 コロナワクチン5回目接種、19 誕生会、23 クリスマス会 26 餅つき 29・30 年末大掃除 ゆず湯(月中)
1	20 抹茶の会、25 誕生会
2	3 節分豆まき、20 避難訓練、誕生会
3	3 ひな祭り、20 誕生会
その他	毎日：リハビリ体操 每週火曜日 カラオケ(コロナの状況により実施) 毎週水曜日：訪問販売 第2・4木曜日：寺岡往診 第1土曜日だんわ会 毎金曜日：暖喫茶 1回/月誕生会

月別利用状況（毎月1日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	利 用 率
男性	19	19	19	19	19	18	18	19	19	19	19	20	227	
女性	30	31	31	31	30	29	29	29	29	29	29	30	357	
計	49	50	50	50	49	47	47	48	48	48	48	50	584	97%

利用者年齢状況（令和5年3月31日現在）

	70歳 未満	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳以上	計	平均 年齢
男性	3	2	3	6	2	2	1	0	19	79.8
女性	2	1	1	6	4	14	2	0	30	86.9
計	5	3	4	12	6	16	3	0	49	84.1

利用者介護度状況（令和5年3月31日現在）

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
男性	6	3	6	1	2	1	0	0	
女性	5	0	5	9	8	3	0	0	
計	11	3	11	10	10	4	0	0	

※令和4年度も新型コロナウイルス禍の中、年度を通して感染対策を重点的に実施した。

しかしながら利用者・職員に若干名の感染者が発生し、早期終息を図る為、職員が一丸となって対応した。以後も、マスクの使用・館内消毒・検温等を継続し幸いにも不特定多数の感染者は発生せず、対策は継続している。

利用者の理解を頂いた上で、感染を避けるため直接の面会を避け、外出についてもご遠慮頂き、職員で必要な限り対応した。この状況が3年程度続いており、入居者はストレスを感じておられる。施設内外の行事も検討したが、変更や中止が多い1年であった。

内外の研修会に於いても延期多く見られ、地域との交流行事も安全を優先し参加出来なかった。

また、館内設備の故障が多く、早急な対応を行う修繕と、代替案にて対応した内容があり入居者にご迷惑をかけた面もあった。次年度以降で隨時、修繕出来れば良いと思う。

次年度は感染の状況により、外出等の機会(買い物やドライブ)が増え、地域や施設行事に参加する機会を多くする事が可能となれば、入居者のストレス緩和が図れると思う。

しかし、コロナ終息となる可能性も低く、感染対策が継続して必要となる生活も想定される為、予防とストレス緩和について、職員で都度協議し、生活面・精神面のバランスを保つ必要があると思われます。

1 小規模多機能施設 さとに暖の里

(1) 施設の現況及び今後の対応課題等

① 安定経営に向けて

令和5年3月31日現在、登録者25名に対し18名。ADLの低下や医療行為が必要となったご利用者様の入院や退所、またそのため登録はあるが入院中のため、年度末に稼働率が下がった。

ご利用者様獲得のため、各地域包括や病院の営業活動を半期で3回行ったが、思うようなご利用者様の獲得に繋がっていない。松保公民館に地域住民への施設PRとご利用者様・職員獲得のためのチラシを持ち寄ったが、営業活動になるとの事で地域住民へのチラシ配布ができなかった。市役所にも相談したが同様であり実施できず。

令和5年度は、民生員や運営推進会議の開催にて、その事を相談しご利用者様の獲得に繋げたい。

令和4年度に新たに4つの介護給付費算定を行った。

- ・中山間地域等における小規模事業所加算
- ・訪問体制強化加算
- ・サービス提供体制強化加算Ⅲ
- ・介護職員等ベースアップ等支援加算

訪問体制加算については算定後、基準となる月に200件以上の訪問サービスをほぼ実施できた。令和5年2月は199件となった。理由としては、3名様が訪問対象となるケアハウスで、新型コロナウイルス感染症感染の為、2週間程訪問サービスを中止した。今後の課題としては、ご利用者様のニーズや利用状況によって件数が減れば算定できなくなるので、そのことを踏まえてご利用者の獲得や訪問サービスを提案していく必要がある。

サービス提供体制強化加算Ⅲについては介護福祉士取得者3割が基準となる。令和4年度は年間を通して配置できたが、余裕のある配置とはなっていない。無資格者の資格取得の促しや新たな有資格者の獲得が課題となる。

令和5年度は、科学的介護推進体制加算の介護給付費算定を予定している。また、算定要件を満たすものがあれば、隨時算定していく。

② 業務の効率化

令和4年1月より、電子化を図りケース記録等をタブレットで記録するように行つた。令和4年度はタブレットでの記録管理が定着し、スタッフの記録業務の時間帯と担当を明確にすることにより、ご利用者様のケアを行う時間を増やすことができた。また、記録業務の時間短縮も行えた。

ワイスマンシステムを最大限に活かしていくには、タブレットによる記録管理だけではなく、ご利用者様のバイタル測定等の体調管理や、各利用状況の管理をしていくことで更なる業務の効率化を図ることができる。しかしながら、職員のワイスマンシステムの理解力に差があり、操作の習得のための教育時間などが課題である。

ご利用者様の送迎について、ご利用状況に合わせタイムリーにルートを変更して、乗り合わせや時間を調整した。その事で、燃料費の削減や時間の効率を上げることができた。

業務の効率を上げるため、職員会議等で話し合い業務を見直してきた。同じ職員からしか意見が出ない傾向にあるので、令和5年度は定期的な「改善提案」の提出を義務付け、業務効率を上げることと、効率化に対する意識向上をしていきたい。

③ スタッフのレベルアップ

令和4年度は、スタッフの退職が多くあり、日々の業務を回すことで手いっぱいであった。全職員に対しては研修を実施する事ができず、個人に合わせたスキルアップを図ることができなかつた。令和5年度は年間計画（令和5年事業計画にて報告）に力を入れ、施設内研修、外部研修、委員会活動を通して個々のスキルアップを図りたい。市や県からの研修案内の回覧を行い、希望者には研修を受けられるように配慮したい。

サービス提供体制強化加算Ⅲ算定のこともあり、介護福祉士の受験資格のある職員に対しては、受験に向けての面談を行う必要もある。

職員の定着に課題があり、離職率が高いことが問題である。それぞれの立場で働きやすい環境となるような取り組みが必要である。また職員の獲得については、これまでの求人活動では、なかなか獲得に至っていない現状がある。職場説明会など新たな取り組みをしていく必要がある。

(2) 主な行事

※別紙添付 令和4年度行事実施報告

(3) 年度末の利用状況

①入居者（利用者） 定員： 25 登録者数： 18

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	1	1	0	2	0	1	0	0	5	78.8
女性	1	0	2	1	1	6	2	0	13	85.7
計	2	1	2	3	1	7	2	0	18	84.9

②入居者（利用者） 介護度状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男性	1	1	0	1	2	0	0	5	1.9
女性	1	1	3	4	1	2	1	13	2.2
計	2	2	3	5	3	2	1	18	2.4

令和4年度 事業報告書 様式

③月別利用状況

ア (さとに 通所) 【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	350	11.6	77.8
5月	31	370	11.9	79.6
6月	30	408	13.6	90.7
7月	31	379	12.2	81.5
8月	31	400	13.3	86
9月	30	372	12.4	82.7
10月	31	402	13.0	86.5
11月	30	361	12.0	80.2
12月	31	353	11.4	75.9
1月	31	315	10.2	67.7
2月	28	293	10.5	69.8
3月	31	304	9.8	65.4
計	365	4307	11.8	78.7

イ (さとに 宿泊) 【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	111	3.7	41.1
5月	31	117	3.8	41.9
6月	30	158	5.3	58.5
7月	31	127	4.1	45.5
8月	31	148	4.8	53
9月	30	157	5.2	58.1
10月	31	174	5.6	62.4
11月	30	123	4.1	45.6
12月	31	117	3.8	41.9
1月	31	124	4	44.4
2月	28	126	4.5	50
3月	31	136	4.4	48.7
計	365	1618	4.4	49.3

令和4年度 事業報告書 様式

ウ(さとに ヘルパー)【延べ利用時間数】

月	営業日数	件数	1日平均
4月	30	259	8.6
5月	31	251	8.1
6月	30	257	8.6
7月	31	252	8.1
8月	31	252	8.1
9月	30	218	7.3
10月	31	242	7.8
11月	30	245	8.2
12月	31	246	7.9
1月	31	210	6.8
2月	28	199	7.1
3月	31	249	8.0
計	365	2880	7.9

令和4年度 年間行事報告

月	行事内容
4月	誕生会：4月26日 お花見ドライブ
5月	誕生会：5月12日、5月19日、5月30日 子供の日行事：工作作り
6月	
7月	七夕祭り：7月7日
8月	誕生会：8月10日 納涼祭：8月10日
9月	誕生会：9月28日 敬老会：9月19日
10月	誕生会：10月16日 紅葉狩りドライブ 松保展示会：10月29日
11月	誕生会：11月22日 干し柿づくり：11月27日
12月	クリスマス会&忘年会：12月26日
1月	誕生会：1月31日 新年会：1月11日
2月	誕生会：2月11日 節分行事：2月3日 さとに喫茶：2月15日
3月	誕生会：3月22日 ひな祭り行事：3月3日 ドライブ：3月25日

令和4年度事業報告書

デイサービスセンター暖の里

基本理念

- ・暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家

基本方針

- ・温和で笑顔あられる施設の実現
- ・その人らしい充実した生活の支援
- ・地域との共生による福祉の実現
- ・人間性豊かな福祉人材の育成
- ・活力ある経営の実行

① 利用者の状況（令和4年度）

*利用状況は全体的に長期入院をされてケアハウスより退居、デイサービスも利用登録終了という方が続き、登録数はあっても実質利用者が少なめになりました。

*9月にコロナウィルスの集団感染が起こってしまい1週間の事業所閉鎖がありました。

*冬場から地域の方も含め、新規利用者が増えずに年度末となってしまいました。

*総利用者数も3年2,196人 4年2,033人と163人の減少が見られます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者登録数	23	24	24	24	24	24	25	24	23	23	22	21
総数	164	178	198	178	189	117	167	172	170	164	154	182
%	78	81	90	85	82	73	80	78	77	82	77	79
支援1												
支援2	2人											
介護1	11人	11人	11人	11人	11人	12人	12人	11人	11人	11人	10人	10人
介護2	6人	6人	7人	8人	8人	7人	8人	7人	7人	7人	7人	6人
介護3	3人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	4人	3人	3人	3人	3人
介護4	1人	1人										

② 行事一覧

*年間を通してデイ喫茶を実施し職員と一緒に楽しんで頂いています。

*降車しない・人込みを避ける等留意し、ドライブを行い気分転換を図りました。

*コロナ禍の影響でパーテーションの重点的配置も行い、レク・行事も工夫しました。

*日々のサービス

毎月の展示物の作成

季節の塗り絵

言葉探しクイズ

カレンダー作成

計算問題

月の歌 パズル

カラオケ オセロゲーム

リハビリ体操

屋外の散歩

下肢体操

リズム体操

北国の春体操

レクレーション

(飛沫・接触の少ないもの)

ペタルこぎ

実施月	・誕生会は毎月お祝いをする。(プレゼントを用意)
4	・ディ喫茶　　・ドライブ(千代川・菜の花、桜の園)
5	・ディ喫茶　　・ドライブ(出会いの森・藤)　　・そら豆皮むき
6	・ディ喫茶　　・ドライブ(瑞穂、鹿野・あじさい)　　・ちまき作り
7	・ディ喫茶　　・七夕飾り　　・七夕まつり(7/7)
8	・お楽しみ夏祭り
9	・敬老会(お楽しみ会)一コロナで中止。
10	・ディ喫茶　　・敬老会
11	・ディ喫茶　　・ドライブ(河原城、美歓水源地)
12	・クリスマス(12/23)　　・餅つき(本館合同)
1	・初詣(白兎神社)　　・ディ喫茶　　・くじ引き発表会(1/4~6)
2	・豆まき　・バレンタイン週間(2/13~17)
3	・ディ喫茶　・ひな祭り

③職員研修の取り組み

施設内研修

月1回の職員会議の実施において、情報の共有・確認を行い常に利用者様に寄り添う支援が行えるように計画的に研修を実施した。

運営推進会議は9月(書面会議)、3月(書面会議)に開催しました。

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
4月20日	ディ職員会議	5月の計画・状況報告・新年度事業検討	全員	5名
5月23日	ディ職員会議	6月の計画・状況報告・移乗移動動作	全員	5名
6月25日	ディ職員会議	7月の計画・状況報告・脱水	全員	6名
7月20日	ディ職員会議	8月の計画・状況報告・事故対応	全員	6名
8月22日	ディ職員会議	9月の計画・状況報告・入浴介助	全員	6名
9月27日	ディ職員会議	10月の計画・状況報告・コロナ対策協議	在員	4名
9月末日	運営推進会議	地域密着型推進会議(書類送付)		
10月21日	ディ職員会議	11月の計画・状況報告・メンタルヘルス	全員	6名
11月23日	ディ職員会議	12月の計画・状況報告・高齢者虐待防止	全員	5名
12月20日	ディ職員会議	1月の計画・状況報告・認知症ケア	全員	6名
1月18日	ディ職員会議	2月の計画・状況報告・応急手当、心肺蘇生	全員	6名
2月20日	ディ職員会議	3月の計画・状況報告・嚥下機能	全員	6名
3月20日	ディ職員会議	4月の計画・状況報告・レクリエーション	全員	6名
3月末日	運営推進会議	地域密着型推進会議(書類送付)		9名

施設外(リモート)研修

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
8月29日	認知症介護基礎研修	認知症理解と対応の基本	嶋田	1名
8月27日	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス・認知療法	松原	1名
3月8日	認知症介護基礎研修	認知症理解と対応の基本	西村	1名

令和4年 事業報告

ホームヘルプステーション暖の里

(1)月別利用状況

<述べ時間数、件数、平均利用回数>

月	日数	訪問介護		総合事業		合計		平均介護度
		件数、時間	利用回数	件数、時間	利用回数	件数、時間	利用回数	
4月	30	800	26.7	96	3.2	896	29.9	1.9
5月	31	807	26	97	3.1	904	29.1	1.7
6月	30	782	26.1	95	3.2	877	29.3	1.8
7月	31	815	26.3	87	2.8	902	29.1	1.8
8月	31	791	25.5	97	3.1	888	28.6	1.8
9月	30	684	22.8	96	3.3	770	26.1	1.9
10月	31	704	22.7	107	3.5	811	26.2	1.9
11月	30	665	22.2	97	3.2	762	25.4	1.9
12月	31	692	22.3	106	3.4	798	25.7	2
1月	31	665	21.5	108	3.5	773	25	2
2月	28	624	22.3	101	3.6	725	25.9	1.9
3月	31	708	22.8	107	3.5	815	26.3	1.9

(2)職員研修

内部研修:毎月、行い全員に研修出来ました。当日欠席の職員には責任者が伝達研修を行いました。

外部研修:西村ヘルパー、管理者網師(感染症対応について)リモートで研修を受ける。伝達研修を行う。他の職は参加することが出来ませんでした。

まとめ

外部の利用者は1名しかなく、ケアハウスの入居者の方が殆どです。入院、退去、施設移動により利用者数の減もありました。新規の登録、利用は1年間で9名しかありませんでした。次年度は外部利用者の利用数の増加、認知度アップ、ケアハウスの新入居の方のサービスの獲得を目指していきたいと思います。
職員は退職者や人事移動はありましたが、11名が在籍しています。コロナ禍で外部研修の参加が困難でした。その後内部、外部研修により更なる職員のレベルアップを図っていきたいです。

事業報告の付属明細書

令和4年度事業報告の内容を補充する重要な事項がないため、
事業報告の付属明細書は作成しない。

社会福祉法人だんのさと

